

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

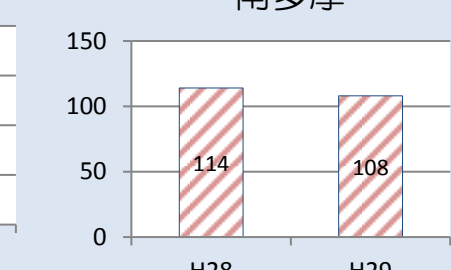
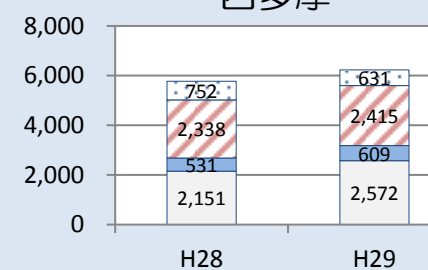
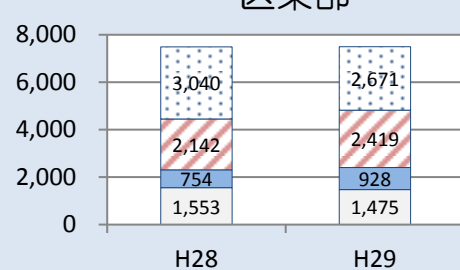
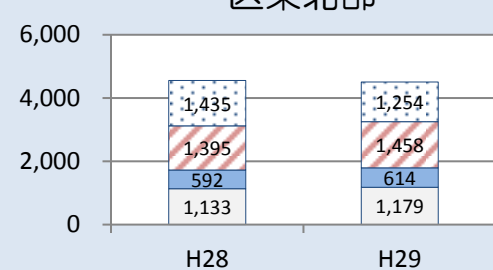
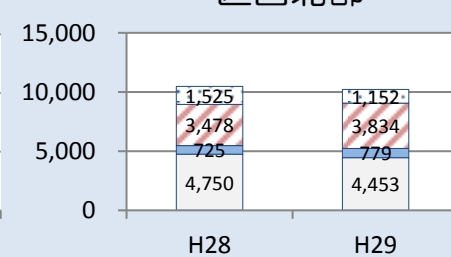
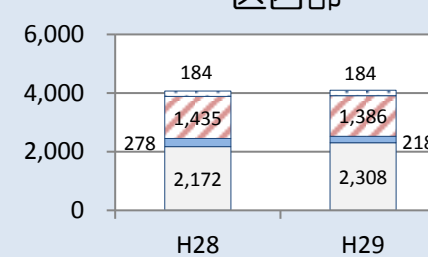
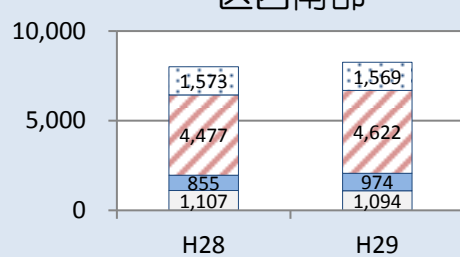
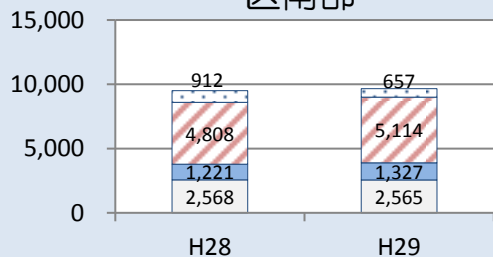
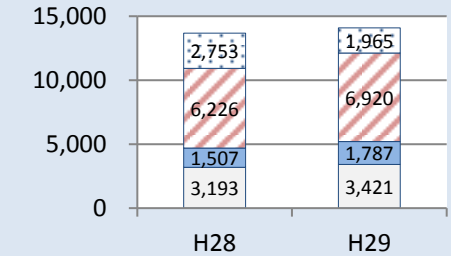
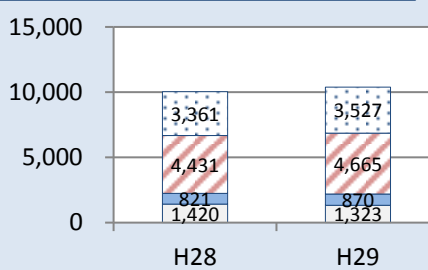
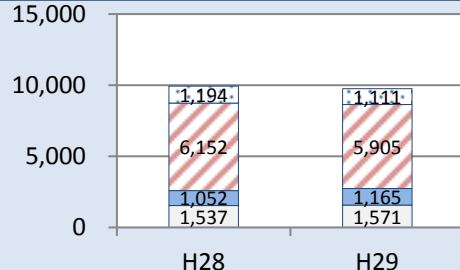
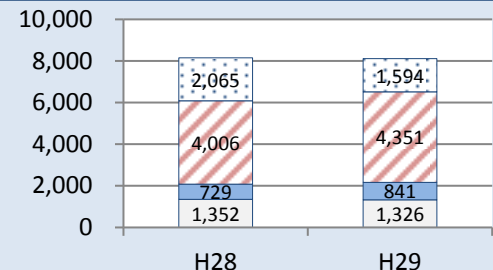
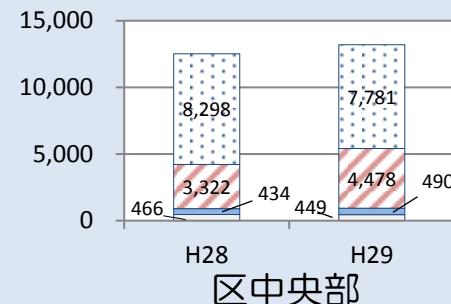
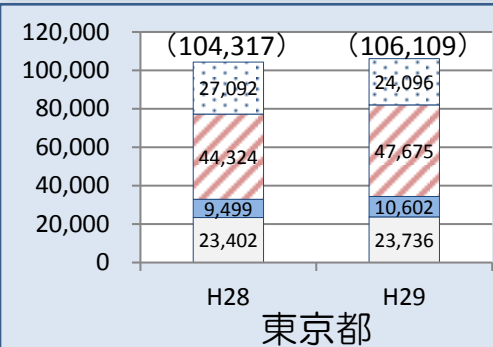
H28-29比較 <4機能別許可病床数>

凡例 □高度急性期 □急性期
 ■回復期 □慢性期

<結果の概要(東京都)>

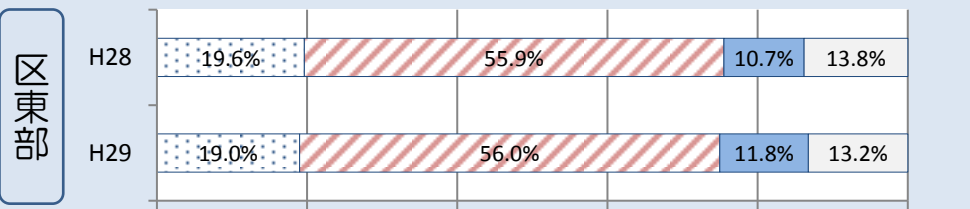
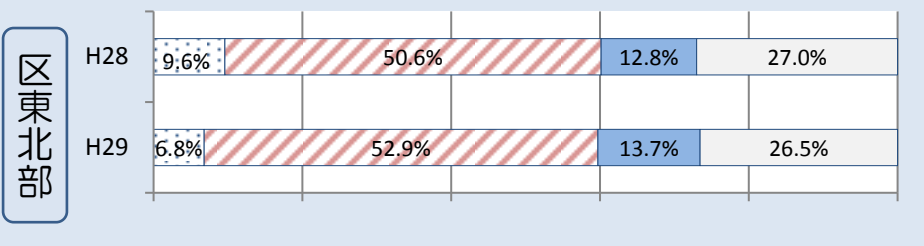
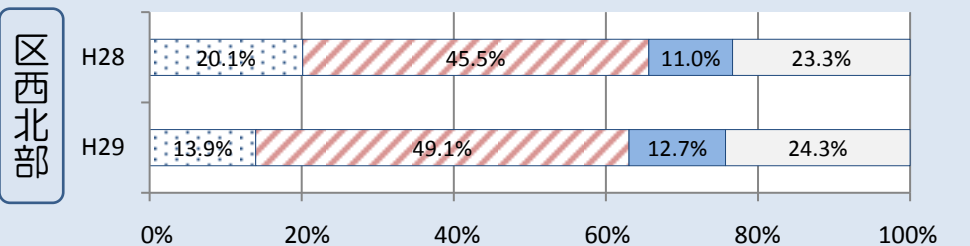
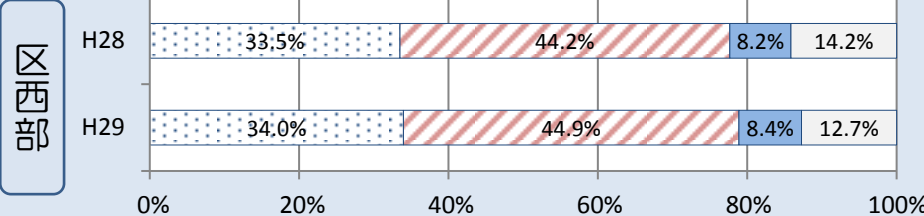
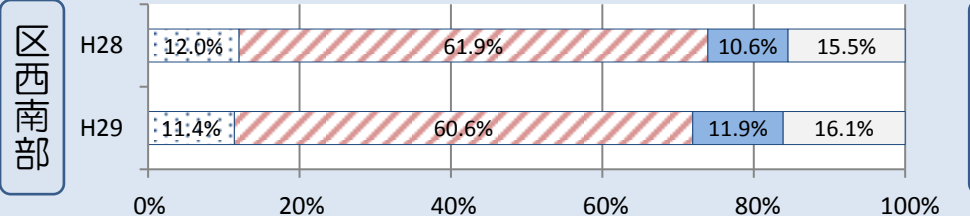
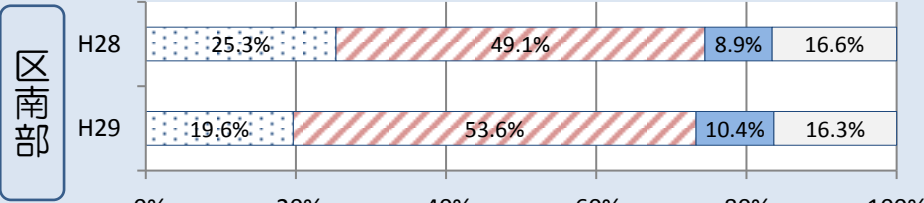
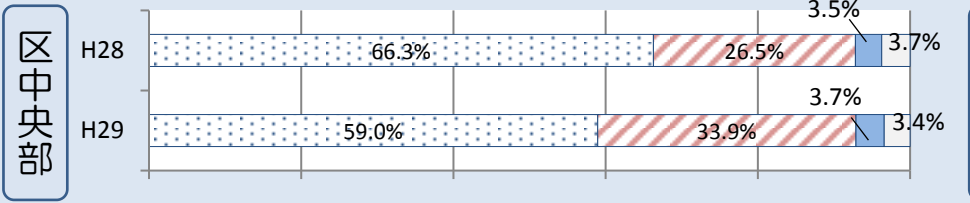
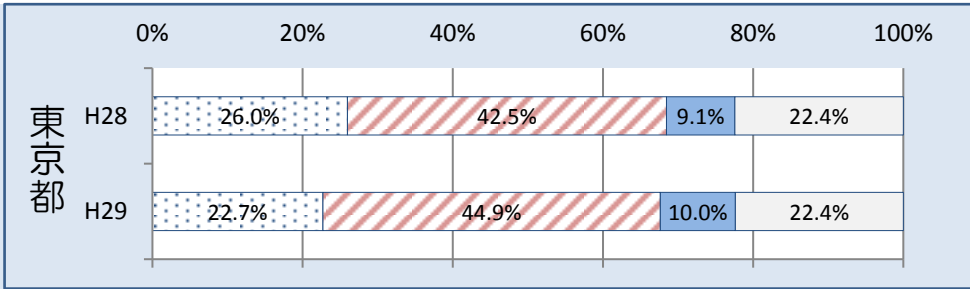
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／区部>

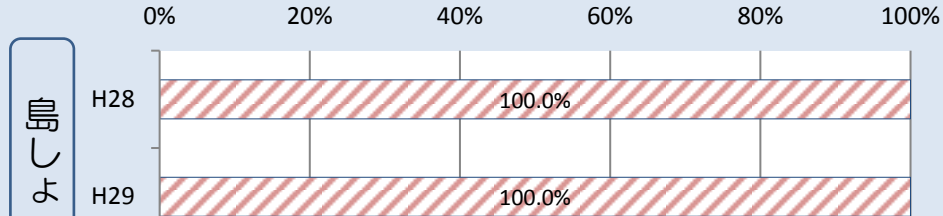
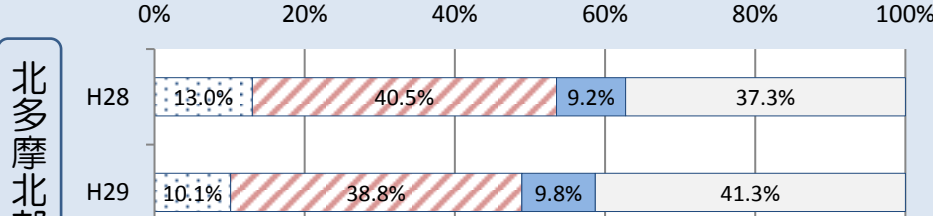
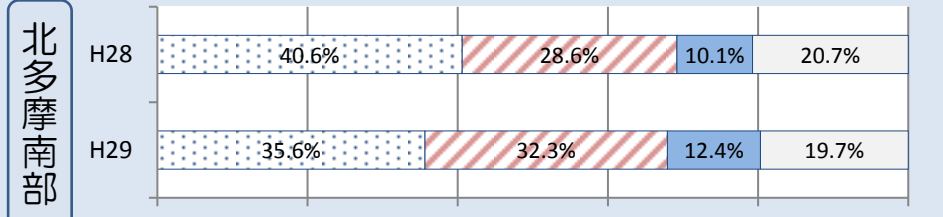
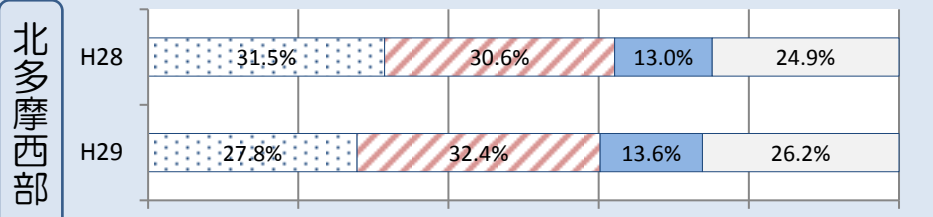
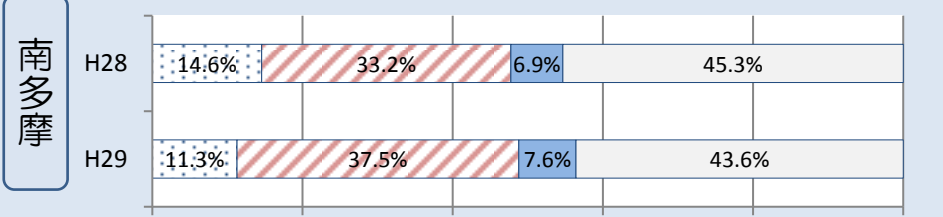
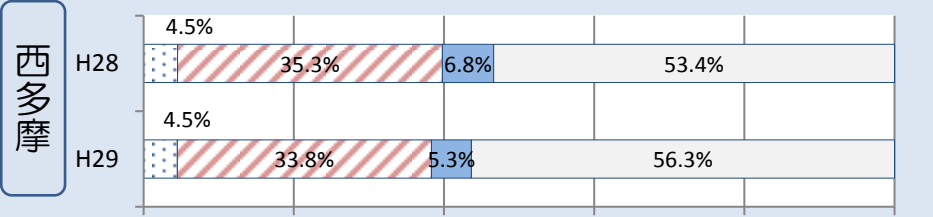


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

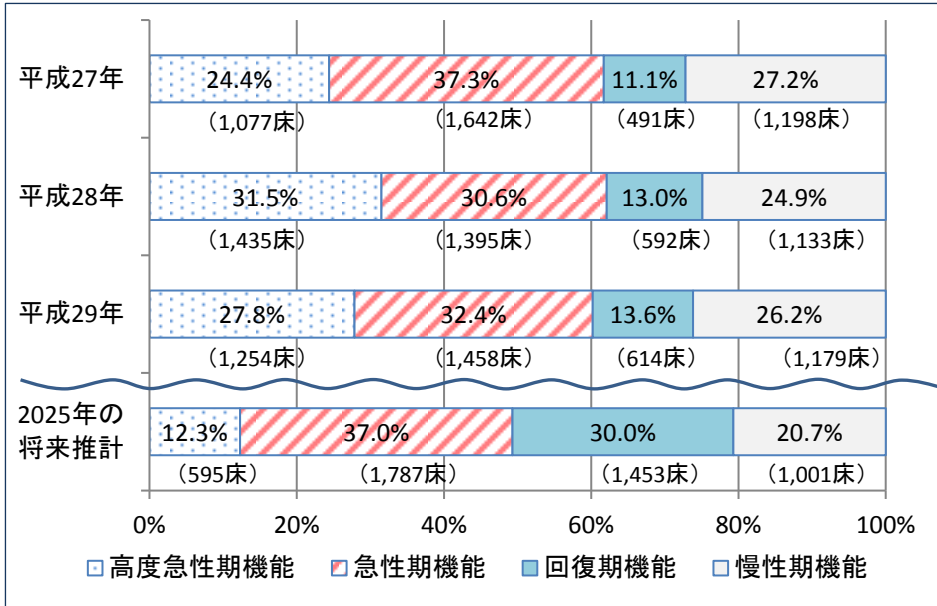
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



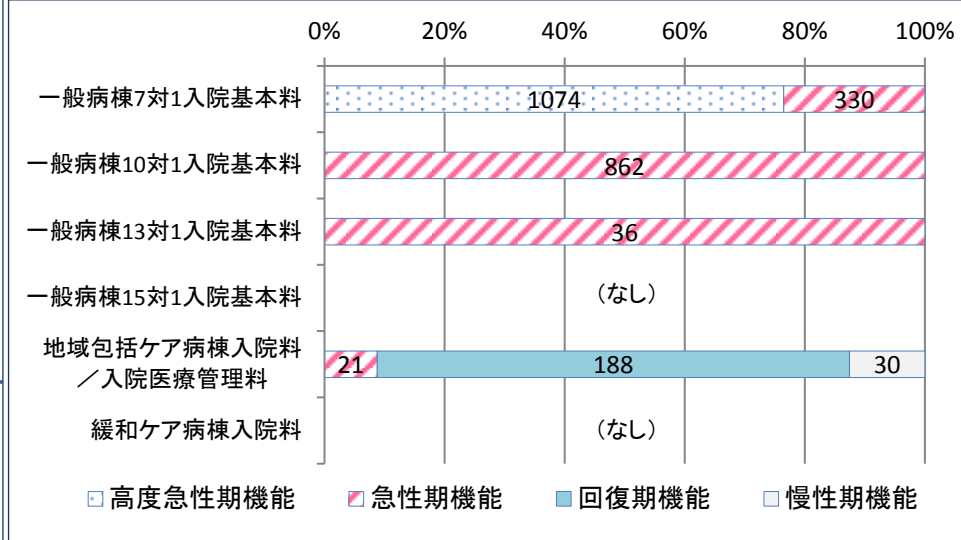
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

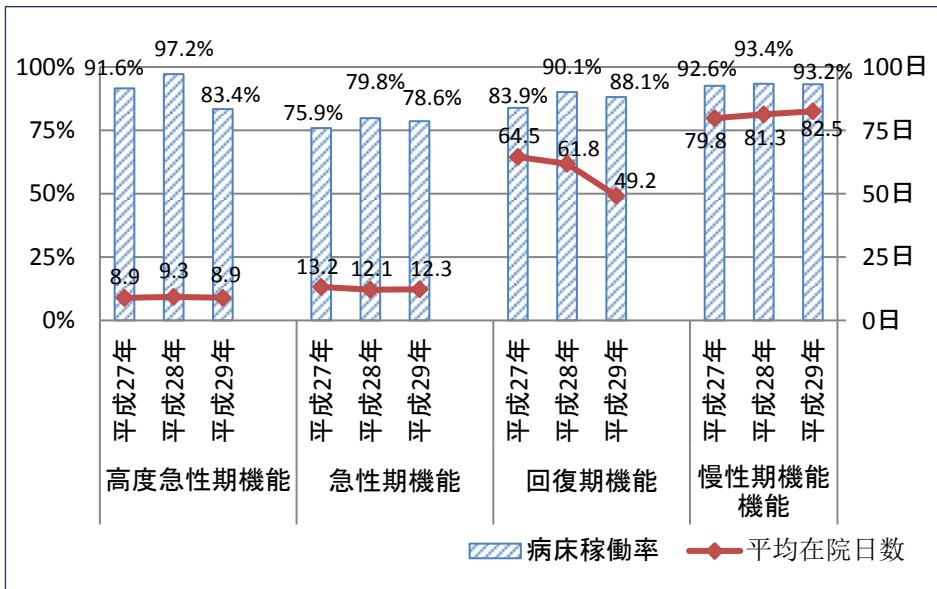
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	2,327 93.2%	38 1.5%	92 3.7%	41 1.6%
急性期機能	1,923 83.1%	25 1.1%	89 3.8%	276 11.9%
回復期機能	334 83.3%	35 8.7%	30 7.5%	2 0.5%
慢性期機能	88 21.4%	167 40.6%	36 8.8%	120 29.2%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 72.0%(前年度64.0%)

- ①高度急性期機能が減少し、それ以外の機能が増
- ②全機能で病床稼働率が下がっている。
- ③7:1病床において、高度急性期機能での報告割合が高い。
地域包括ケア病棟は回復期機能での報告割合が高い。
- ④慢性期機能で、在宅医療の実施予定が不明の割合も高いが、
自院が在宅医療を提供する予定の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が大きく上昇